

2019 年度

アメリカ留学報告書

留学先：セントラル・ミズーリ大学

留学期間：8月22日～12月12日

新潟国際情報大学
国際学部
学籍番号：21018059
鈴木陽葵

目次

- 1 留学先及び期間
- 2 留学先概要
- 3 留学目的
- 4 留学内容
 - 4 - 1 留学のスケジュール
 - 4 - 2 留学の詳細
- 5 当初の目的及び目的への到達度
- 6 反省・課題

謝辞

付録

留学日誌

1 留学先及び期間

留学先：セントラル・ミズーリ大学

留学期間：令和元年 8 月 22 日～令和元年 12 月 12 日

※帰国は 12 月 13 日

2 留学先概要

(1) 大学について

セントラル・ミズーリ大学は 1871 年に創設され、全米 43 州のほか、世界 57 か国から 2000 人以上の留学生を受け入れており、延べ 13000 人の生徒が在籍している州立の大学である。学部はビジネスからデザイン・アートなど多彩な学部のほか、留学生が所属する IEP クラスがある。また、航空学が有名で、パイロットを目指す日本人を含めた学生が各地から集まる。

(2) 大学で行われている教育について

留学生は、IEP (Intensive English Program) というクラスで学習することとなる。これは、9 つのレベルに分かれ、それに見合った学習をすることのできるプログラムである。Reading、Writing、Communication Skills、Grammar の 4 つの科目を中心に学習する。各クラスには、韓国やサウジアラビア、パキスタン、エルサルバドル、インドネシアからの留学生が在籍しているため、英語での異文化交流を図ることができる。

3 留学目的

今回の留学の目的は英語力の改善、向上であった。特に Listening 能力の底上げをし、意味を理解して会話につなげられるようにすることを目的とした。留学中には、会話の際に聞き取れはしても伝えたいことを英語で口に出す Speaking の重要性を再確認し、上記 2 つの能力を向上させることを目的とした。また、精神面での成長も目的の 1 つであった。未体験の世界を感じることで、持っていた固定観念を捨て、柔軟な思想を持つことができるような人間に成長することを念頭に置き、取り組んだ。

授業外でも目的達成のため、スポーツや日常会話を通してコミュニケーションを図った。体調不良の際にヘルスセンターを利用したことで、医療的なアドバイスや会話の機会を得ることができた。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	火	水	木	金
Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills	TOEIC
Writing	Grammar	Writing	Grammar	American History/ Japan U.S. Relations
Pronunciation	Communication Lab	Pronunciation	American Culture	
Reading Lab	American Culture	Writing Lab	Grammar Lab	

月	日 (曜日)	予定
8	22 (木)	到着
	23 (金)	オリエンテーション
	24 (土)	オリエンテーション
	25 (日)	オリエンテーション
	27 (月)	授業開始
9	5 (木)	アメフト開幕戦
	13 (金)	メジャーリーグ観戦
10	18 (金)	カンザスシティでの課外アクティビティ
	31 (木)	ハロウィンパーティー
11	7 (木)	サンクスギビングディナー
	21 (木)	映画鑑賞
	23 (土) ~1 (日)	Thanksgiving Day
12	11 (水)	セレモニー
	13 (金)	日本到着)

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

・ Reading

文章を読み、該当する年代に起きた事象や時代背景を理解する。

また、本を使い、物語の出来事や登場するキャラクターの性格、行動を先に読んだ文章で学習した出来事や人物と結びつけながらディスカッションし、理解する。

- **Writing**

英語でのエッセイの書き方を学び、実践する。テーマを決め、エッセイを書く。

- **Communication Skills**

授業は主に決まったテーマについてのディスカッション、動画や音声で聞き取ったものをノートにとり、まとめる **Listening and Notetaking** であった。計4回のプレゼンテーションがある。グループプレゼンテーションでは日本人以外の学生ともプレゼンテーションを作成した。

- **Grammar**

クラスごとに異なった単元の文法を学び、使い方を覚える。

- **Pronunciation**

4人ずつの少人数グループに分かれ、インストラクターの先生とともに、さまざまな日常会話のシチュエーションを利用して英語の発音の向上を図る。

- **American Culture**

アメリカの文化について学ぶ授業。自身がアメリカに来てから体験した異文化について伝える。

- **TOEIC**

TOEIC で得点を伸ばすため、模擬問題を使って練習をする。

- **Japan U.S. Relations**

日本とアメリカの歴史から両国の関係性を学ぶ。

- **American History**

アメリカの歴史を学ぶ。当時の人の立場や社会構図を学ぶ。

5 当初目的及び目的への到達度

今回の留学の目的の到達度について、それぞれまとめる。

1)英語力の改善、向上

全体的に留学前より向上傾向にあると感じた。留学当初理解できなかった **Listening** の分野では、理解して会話につなげることができるようになった。**Speaking** の分野は改善する

必要があるが、簡単な英語を使って相手に伝わりやすいよう心掛けるようになったため、ポジティブに受け止めている。これから大学で向上させられるように取り組む。

2)精神面での成長

留学当初から異文化への理解や順応の必要性に気づくことができた。そのため、留学期間を通して思考の柔軟さや、相手を優先する精神を伸ばし、多くの人と関わることができた。その経験を活かし、挑戦する気持ちを持つことができたことが目的の達成を表していると感じた。

6 反省・課題

4か月間の短期留学ではあったが、触れたことがなかった異文化を体験する貴重な時間を有することができた。英語の学習だけでなく、人間としての成長を助長してくれるような留学生活であった。学習面では、先で述べた通り、まだまだ改善点があるため、大学生活の中で学んでいきたい。

謝辞

今回、アメリカ留学のために、渡航する準備や手続きなどをしてくださった新潟国際情報大学の先生方、学務課の方々に心より感謝いたします。また、アメリカ生活の中で、学習面でも生活面でもサポートしてくださった Valerie Heming さん、Jill Thomas さん、Amber Scroggs さん、Miryan Andaku さん、UCM の方々にも心よりお礼申し上げます。最後に、今回の留学の決断を尊重し、留学をさせてくれた母や援助してくれた家族へ感謝を述べます。本当にありがとうございました。

付録：研修日誌

9月5日 木曜日
アメフト開幕戦観戦
アメリカンフットボールの試合を始めて観戦した。大学リーグの開幕戦ということもあり、相当な盛り上がりが見られた。しかし、試合を楽しむためにはルールへの把握が大前提であった。



9月13日 金曜日

メジャーリーグ観戦

人生で初めてスタジアムでメジャーリーグベースボールを観戦した、応援するチームは敗戦してしまったが、メジャーリーグならではのダイナミックなプレーを見ることができた。



10月31日 木曜日

ハロウィンパーティー

各々が好きな仮装をし、ビンゴゲームやその他の催しでパーティーを楽しんだ。お菓子など軽食も用意されていた。

11月23日~12月1日

Thanksgiving Day

4日間ニューヨークに滞在し、主にショッピングに興じた。各ショップの店員の方と会話をするのが楽しく、とても充実した時間を過ごすことができた。アメリカ生活の中でも極めて印象的な期間であった。



12月11日 水曜日

セレモニー

留学プログラムの修了セレモニーが行われた。食べ物も用意されていて、食事もすることができた。生徒が学期を振り返るスピーチをしたのち、各生徒へ修了証書が先生から渡された。

